

科目名 Course Name	国内旅行実務 I Travel Agency Work-Domestic Travel I	ナンバリング No.	E1-003				
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-Learning または研究室(本館 2F)で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP5						
授業の概要と到達目標	国内旅行を計画するにあたって必要な、交通機関の運賃・料金計算や宿泊機関の規則・宿泊料金計算の方法等を学ぶ。 また、国家資格である「国内旅行業務取扱管理者試験」にも対応する講義内容である。 ①運送機関の運賃・料金や宿泊施設の料金計算の仕組みを修得できるようにする。 ②国家試験合格レベルに達することができるようにする。						
授業の方法	講義が主体であるが、過去に出題された国家試験問題の取組み等も含めて、より実践的な内容となる。教科書を基本として進めていく。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	JR・航空・フェリー等の交通機関の運賃や料金の算出の仕方および宿泊機関の料金の算出方法が身に付き、国内旅行商品の基本構造も説明できるようになり、国家試験にもチャレンジすることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストは授業内にて返却・説明し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:国内運賃料金 2024 (JTB 総合研究所) ※必ず購入すること。						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 ●遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。 						
担当教員の実務経験	添乗業務 13 年						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。 S 評価の基準：上記参加態度を全て満たす者。			20	
レポート/作品					
発表					
小テスト	JR 運賃・料金の学習の中間でチェックテストを実施し、最終（15 回目）にテストを実施し、理解度を確認する。S 評価の基準： S=90-100			80	
試験					
その他					
合 計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義内容・講義の進め方・評価方法）
	事前・事後学習	第1章 旅客営業規則の概要
2	授業内容	JR 運賃①（旅客営業規則・乗車券類発売の概要）
	事前・事後学習	第1章：旅客営業規則の概要 第2章：乗車券類販売の概要
3	授業内容	JR 運賃②（運賃計算・幹線と地方交通線・本州3社と3島会社）
	事前・事後学習	第3章：運賃（運賃計算の原則）
4	授業内容	JR 運賃③（連絡運輸・通過連絡運輸・普通乗車券の種類・運賃計算の特例）
	事前・事後学習	第3章：運賃（普通乗車券の種類・運賃計算の特例）
5	授業内容	JR 運賃④・料金①（普通乗車券の効力・運賃の割引・料金計算の基本）
	事前・事後学習	第3章：運賃（普通乗車券の効力・運賃の割引） 第4章：料金（料金計算）
6	授業内容	JR 料金②（特別急行料金・特急券の様式・新幹線の特急券）
	事前・事後学習	第4章：料金（料金計算）
7	授業内容	JR 料金③（グリーン料金・寝台料金・乗継割引）
	事前・事後学習	第4章：料金（料金計算・乗継割引）
8	授業内容	JR 運賃その他の取扱い（乗車券類の変更・払戻し・団体乗車券の発売他）
	事前・事後学習	第5章：変更・取消・払戻し 第7章：団体乗車券の取扱い
9	授業内容	航空運賃・料金①（航空券発売の概要）
	事前・事後学習	第1章：航空券販売の概要
10	授業内容	航空運賃・料金②（運賃・料金規則等）
	事前・事後学習	第2章：運賃・料金等
11	授業内容	貸し切りバスの運賃・料金規則
	事前・事後学習	第1章：貸し切りバス
12	授業内容	フェリーの運賃・料金規則
	事前・事後学習	第2章：フェリー
13	授業内容	宿泊料金の規則
	事前・事後学習	第2章：宿泊料金等
14	授業内容	宿泊料金の規則
	事前・事後学習	第2章：宿泊料金等
15	授業内容	全体のまとめ 試験
	事前・事後学習	教科書全体の復習